

総務省承認番号 No. 26039

承認期限 平成17年 9月25日まで

秘

第13回出生動向基本調査

# 結婚と出産に関する全国調査

〔結婚されている方へのご質問票〕

(平成17年(2005年) 6月1日 現在の事実)

## 対象となられた皆さまへ

このたびは調査にご協力いただきまして、まことにありがとうございます。

この調査は、わが国における結婚、出産、子育ての現状と課題を調べるために、国立社会保障・人口問題研究所が全国的に行う標本調査です。これからの日本社会の見通しや施策を考える上で、大切な資料となるものです。この調査票への回答は統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は法律で固く禁じられています。お答えいただいた内容が他にもれることは絶対にありませんので、どうぞ安心してありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

(調査の詳しいご説明は、表紙裏をご覧ください)

なお、この調査票の配布と回収(密封封筒)には、都道府県知事(市長・区長)の任命を受けた調査員が皆さまのお宅にうかがいます。ご不明の点は調査員におたずねください。

## 記入上のお願い

- 1 この調査票は結婚している50歳未満の女性の方に、ご夫婦のことについて答えていただくためのものです(「結婚している」とは、届出の有無にかかわらず配偶者がいることです)。
- 2 平成17年(2005年)6月1日現在の事実について、ご記入ください。
- 3 回答のしかたは、あてはまる番号に○をつけるものと、必要なことがらを書きこむものがあります。
- 4 回答後の調査票は、回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡しください。封筒はそのまま国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、決して途中で開封されることはありません。

厚生労働省  
国立社会保障・人口問題研究所

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3  
日比谷国際ビル6階

電話 (03) 5253-1111 内線4472 / 4473  
<http://www.ipss.go.jp>

## 調査員記入欄

都道府県	保健所	地域コード			

## § 調査についてのご説明

### ◇ 出生動向基本調査とは？

この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育てについて調べる全国標本調査で、ほぼ5年ごとに実施されてきました。今回は13回目にあたります。ご夫婦の方への調査と、独身の方への調査の2種類があります。

### ◇ 調査の目的

国や自治体は、さまざまな施策を実施するにあたって、住民のおかれた状況や問題を把握しておかなくてはなりません。この調査では、国民の皆さまの結婚、出産、子育ての状況を把握し、これにかかわる政策的な課題を社会科学的立場から探ることが主な目的です。とりわけ今日の日本では少子化が進行し、これにともなう人口の減少と高齢化、そしてひとりひとりの生き方の変化は、今後の日本社会に大きな影響を与えることが指摘されています。この少子化の現状を把握し、原因を究明することは、本調査の大切な課題のひとつです。

### ◇ 調査の対象

この調査は、全国から無作為に選ばれた地域にお住まいの方を对象としており、以下の2つのグループの方々に別々の調査票を用意しています。

【結婚されている方へのご質問票】（黄色の調査票）

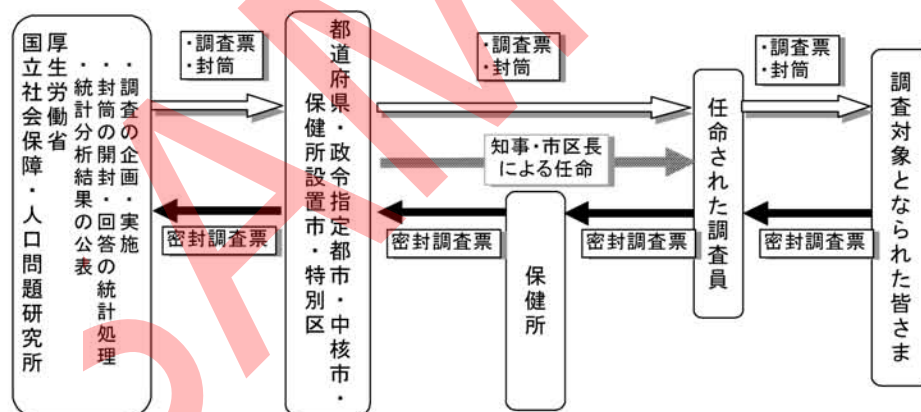
—— 届出の有無を問わず、結婚されている50歳未満の女性の方すべてが対象です。

【独身の方へのご質問票】（緑色の調査票）

—— 18歳以上50歳未満の独身の男性の方と独身の女性の方すべてが対象です。

### ◇ 調査のしくみ

この調査は、国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省の付属機関）が、統計報告調整法に基づく総務大臣の承認を受けて、国、都道府県（または政令指定都市・中核市・保健所設置市・特別区）、地域の保健所と連携して実施します。調査は、知事（市長・区長）から任命された調査員が皆さまのお宅にうかがい、調査票の配布、および回答いただいた調査票（封筒に入れて密封したもの）を回収する方法で行います。



### ◇ プライバシー・個人情報の保護について

この調査票上の回答はすべて統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は「統計法」という法律で固く禁じられています。皆さまに回答いただき回収用封筒に密封された調査票は、調査員が回収した後も開封されることなく国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、その後は厳重な管理の下に置かれます。統計を作成する過程では個人を特定する情報はすべて除外されます。したがって、個人情報もれることは絶対にありません。

### ◇ その他のお問い合わせ

回答方法などについてのお問い合わせは、調査員におたずねください。また、本調査の詳細情報、これまでの調査結果、よくあるお問い合わせなどについては、インターネット上に出生動向基本調査のホームページを開設して紹介しています。そちらをご参照ください。

出生動向基本調査ホームページ・アドレス（対象者用） <http://www.ipss.go.jp/nfs13/>

問1 あなた方ご夫婦の(1)出生年月、(2)結婚生活を始めた年月、(3)結婚を届け出た年月、および(4)初再婚の別について、あてはまる番号に○をつけ、下線の欄に数字を記入してください。

	(1) 出生年月	(2) 結婚生活を始めた年月	(3) 結婚を届け出た年月	(4) 初再婚の別
あなた	1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦	1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦	1. 結婚生活開始と同時 2. 下の年月に届け出た ↓ 1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦	1. 初婚 2. 離婚後再婚 3. 死別後再婚
夫	1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦		3. (まだ)届け出はしていない	1. 初婚 2. 離婚後再婚 3. 死別後再婚

問2 あなた方ご夫婦がそれぞれ (1)最後に卒業された(あるいは在学中の)学校と、(2)卒業・在学の別について、あてはまる番号に○をつけてください。また、卒業された方は (3)卒業したときの年齢を( )内に記入してください。

	(1) 卒業した(または在学中の)学校	(2) 卒業・在学の別
あなた	あてはまる番号に○ 1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修学校(高卒後) 5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他 具体的に( )	あてはまる番号に○ 1. すでに卒業 → (3)卒業した年齢 数字を記入 ( )歳 2. 現在、在学中(休学等を含む)
夫	あてはまる番号に○ 1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修学校(高卒後) 5. 短大・高専 6. 大学 7. 大学院 8. その他 具体的に( )	あてはまる番号に○ 1. すでに卒業 → (3)卒業した年齢 数字を記入 ( )歳 2. 現在、在学中(休学等を含む)



●このページでは、あなた方ご夫婦のお仕事についてうかがいます。

問3 あなた方ご夫婦のいろいろな時期のお仕事についておたずねします。下のa~gの各時期における(1)おつとめの状況、(2)職種、(3)おつとめ先の従業員数について、回答欄のあてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

おたずねの対象者 ↓	おたずねの対象の時期 ↓	(1)おつとめの状況						(2)職種							(3)おつとめ先の従業員数 (本社・支社を含む)						
		1 正規の職員	2 パート・アルバイト	3 派遣・嘱託・契約社員	4 自営業主・家族従業者・内職	5 無職・家事	6 学生	1 主として農林漁業	2 農林漁業以外の自営業	3 専門職	4 管理職	5 事務職	6 販売・サービス職	7 工場などの現場労働	1 1人	2 10人	3 30人	4 100人	5 300人	6 1000人以上	7 官公庁
		回答欄																			
あなた	a. 最後に学校を卒業した直後*	1~6のあてはまる番号に○をつける 1~4に○をつけたときは右の欄に進む						(1)で1~4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける							(1)で1~4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける						
	b. 現在の結婚を決めたとき	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						
	c. 結婚直後	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						
	d. 現在	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						

夫	e. 最後に学校を卒業した直後*	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						
	f. あなたとの結婚を決めたとき	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						
	g. 現在	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						

\*在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

問4 あなた方ご夫婦の現在のお仕事について、次の(1)から(4)までの項目に、該当する数字を記入し、あてはまる番号に○をつけてください。

	あなたの仕事について (現在仕事に就いている場合のみご記入ください)	夫の仕事について (現在仕事に就いている場合のみご記入ください)
(1) 一週間の平均的な労働時間	週あたり平均 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	週あたり平均 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
(2) ひと月あたりの収入(税込み)	ひと月約 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円 給与収入の場合は、ボーナス等も含めた、ひと月あたりの平均額を記入してください 事業収入の場合は、売上から諸経費を差し引いた、ひと月あたりの平均額を記入してください	ひと月約 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円
(3) 現在の仕事の継続年数	およそ <input type="text"/> <input type="text"/> 年 1年未満の場合は、1年としてください	およそ <input type="text"/> <input type="text"/> 年
(4) 今後の継続の見通し	1. 当分は今の仕事を続ける 2. 転職の可能性あり 3. 退職の可能性あり 4. わからない 予想される理由(あてはまる番号に○) 1. 仕事・職場の事情 2. 次の出産を機に 3. 親族の介護のため 4. 上記以外の事情	1. 当分は今の仕事を続ける 2. 転職の可能性あり 3. 退職の可能性あり 4. わからない

●このページでは、あなた方ご夫婦のご両親とごきょうだいについてうかがいます。

問5 あなたのご両親の出生年について、それぞれ記入してください。また、あなたと夫のお父さまのそれぞれの時期の存否について、あてはまる番号に○をつけてください。

(1)あなたのお母さまの出生年	(2)あなたのお父さまの出生年	(3)あなたのお父さまの存否	
1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 西暦 _____年 生まれ	1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 西暦 _____年 生まれ	a. 現在	1. ご健在 2. 亡くなられた
		b. あなたが現在の結婚を決めたとき	1. 健在だった 2. 亡くなっていた

(4)夫のお父さまの存否	
a. 現在	1. ご健在 2. 亡くなられた
b. あなた方が現在の結婚を決めたとき	1. 健在だった 2. 亡くなっていた

問6 下のa～cの各時期における、(1)あなたのお母さま、(2)夫のお母さまとの同居/別居について、あてはまる番号に○をつけてください。また、それぞれの時期の(3)世帯の同居人数、および(4)住んでいた住宅の種類、(5)居住室数について記入してください。

おたすねの対象時期 ↓		(1)あなたのお母さまとの同居/別居				(3) 各時期の世帯の同居人数 <small>*ご本人をきめた人数をご記入ください</small>	(4)住宅の種類						(5) 各時期の住宅の居住室数※
		1 同居	2 同じ市区町村内で別居	3 それ以外の地域で別居	4 すでに亡くなっていた(いる)		1 持ち家(一戸建て)	2 持ち家(マンション・集合住宅)	3 民間賃貸住宅	4 給与住宅(社宅・公務員住宅など)	5 営住宅など	6 (旧)公団・公社・県営・市営その他	
a. 現在の結婚を決めたとき	あなた	各欄のあてはまる番号に○				( )人	各欄のあてはまる番号に○						/
	夫	/				( )人	/						
b. 結婚直後		1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	( )人	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	( )室		
c. 現在		1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	( )人	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	( )室		

※ 居間、茶の間、寝室、客間、書斎、応接間、仏間、食事室など居住用の部屋数を、ご記入ください。  
3畳以上のダイニング・キッチンを含めますが、玄関、台所、便所、浴室、廊下、土間などは含めません。

問7 あなた方ご夫婦の兄弟姉妹の数を( )内に記入してください(亡くなられた方は含めません)。

あなた	兄 ( )人 いない場合は0を記入	姉 ( )人 いない場合は0を記入	弟 ( )人 いない場合は0を記入	妹 ( )人 いない場合は0を記入	あなたを含めて合計 ( )人きょうだい
夫	兄 ( )人 いない場合は0を記入	姉 ( )人 いない場合は0を記入	弟 ( )人 いない場合は0を記入	妹 ( )人 いない場合は0を記入	夫を含めて合計 ( )人きょうだい

●このページでは、あなた方ご夫婦の結婚とお子さんの数についてうかがいます。

問8 あなた方ご夫婦が、(1)初めてお知り合いになったのはいつですか。また、(2)婚約あるいは結婚の合意をなされたのはいつですか。

(1) 初めて知り合った年月	(2) 婚約または結婚の合意の年月
1. 昭和	1. 昭和
2. 平成 _____年__月	2. 平成 _____年__月
3. 西暦	3. 西暦

問9 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

ご夫婦が知り合ったきっかけ	
1. 学校で	6. 見合いで（親せき・上役などの紹介も含む）
2. 職場や仕事の関係で	7. 結婚相談所で
3. 幼なじみ・隣人関係	8. 街なかや旅先で
4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで	9. アルバイトで
5. 友人や兄弟姉妹を通じて	10. その他（ _____ ）

問10 あなた方ご夫婦のお子さんについておたずねします。次の( )内に該当する人数を記入してください。

	全部で	男の子	女の子
これまでに生んだお子さんは	( _____ ) 人 いない場合は0を記入	( _____ ) 人 いない場合は0を記入	( _____ ) 人 いない場合は0を記入
そのうち生存しているお子さんは	( _____ ) 人 いない場合は0を記入	( _____ ) 人 いない場合は0を記入	( _____ ) 人 いない場合は0を記入

●次の問は、ご自身が再婚の方につながります。再婚経験がない方は問12へ進んでください。

問11 あなたの最初の結婚と、その結婚で生んだお子さんについて、あてはまる番号に○をつけ、年月および人数を記入してください。

(1) 最初の結婚生活を始めた年月	(2) 同居をやめたとき、または死別の年月	(3) 最初の結婚で生んだお子さんの数
[ 1. 昭和 2. 平成 3. 西暦 ] _____年__月	[ 1. 昭和 2. 平成 3. 西暦 ] _____年__月	( _____ ) 人 いない場合は0を記入



★このページでは、あなた方ご夫婦の妊娠・出産にかかわる事柄についてうかがいます。  
立ち入った内容も含まれますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

問12 あなた方ご夫婦は、不妊について不安や悩みがありますか。あてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

1. 子どもができないことを心配したことはない 2. 過去に子どもができないのではないかと心配したことがある 3. 現在、子どもができないのではないかと心配している	1. 心配はしたが、特に医療機関にかかったことはない 2. 過去に検査や治療を受けたことがある 3. 現在、検査や治療を受けている
------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------

問13 あなた方ご夫婦は、(1)現在、避妊を行っていますか。行っている場合 (2)避妊の方法はなんですか。あてはまる番号に○をつけてください。また、以前避妊をしていて現在はしていない場合、(3)避妊をやめてからどのくらい経過しましたか。およその年月を記入してください。

(1) 現在の避妊の実行	(2) 避妊の方法
1. 現在避妊をしている（不妊手術を含む） 2. 以前にしたことがあるが現在はしていない <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             (3) 避妊をやめてからの経過期間              避妊をやめてから、およそ              ____年 ____ヶ月 経過している           </div> 3. 今まで避妊はしたことがない	あてはまる番号すべてに○ 1. コンドーム 2. オギノ式・基礎体温法 3. IUD（リング・コイル・ループ） 4. ピル（経口避妊薬） 5. 性交中絶（膣外射精） 6. 男性の不妊手術 7. 女性の不妊手術 8. その他（                      ）

問14 あなたは現在、妊娠や出産に関わる健康に、問題や障害を感じていることはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

あてはまる番号 1. 月経（生理）に問題がある 2. 婦人科系の障害*がある 3. 更年期障害がある 4. 性生活に問題がある 5. 流産しやすい 6. その他（                      ） 7. 上記のような問題や障害はない	※ 婦人科系の障害とは、排卵障害、卵巣嚢腫、子宮筋腫、子宮内膜症、感染症などを含みます。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------

問15 あなた方ご夫婦が、これまでに経験した妊娠の回数を（ ）内に記入してください。

妊娠（        ）回 一度も経験していない場合には0を記入
-------------------------------------

●このページでは、妊娠経験についてうかがいます。

妊娠経験がない方（前問(問15)で0を記入された方）は、問20に進んでください。

問16 あなた方ご夫婦が（結婚前も含めて）経験されたすべての妊娠・出産について、(1)妊娠の結果、(2)妊娠/出産の時期、(3)妊娠前の予定のあてはまる番号に○をつけ、人数、年月、年齢を記入してください。

	(1) 妊娠の結果	(2) 妊娠/出産の時期	(3) 妊娠前の予定
第1回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男}(\quad) \text{人} \\ \text{女}(\quad) \text{人} \end{array} \right\} \end{array} \right\}$ 2. 流産（死産を含む） 3. 人工妊娠中絶 4. 現在妊娠中 _____	$\left\{ \begin{array}{l} [1. \text{昭和} \ 2. \text{平成} \ 3. \text{西暦}] \\ \text{_____年} \ \text{_____月} \text{出産} \\ \text{あなたが}(\quad) \text{歳のとき} \\ [1. \text{平成} \ 2. \text{西暦}] \\ \text{_____年} \ \text{_____月} \text{出産予定} \end{array} \right\}$	1回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第2回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男}(\quad) \text{人} \\ \text{女}(\quad) \text{人} \end{array} \right\} \end{array} \right\}$ 2. 流産（死産を含む） 3. 人工妊娠中絶 4. 現在妊娠中 _____	$\left\{ \begin{array}{l} [1. \text{昭和} \ 2. \text{平成} \ 3. \text{西暦}] \\ \text{_____年} \ \text{_____月} \text{出産} \\ \text{あなたが}(\quad) \text{歳のとき} \\ [1. \text{平成} \ 2. \text{西暦}] \\ \text{_____年} \ \text{_____月} \text{出産予定} \end{array} \right\}$	2回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第3回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男}(\quad) \text{人} \\ \text{女}(\quad) \text{人} \end{array} \right\} \end{array} \right\}$ 2. 流産（死産を含む） 3. 人工妊娠中絶 4. 現在妊娠中 _____	$\left\{ \begin{array}{l} [1. \text{昭和} \ 2. \text{平成} \ 3. \text{西暦}] \\ \text{_____年} \ \text{_____月} \text{出産} \\ \text{あなたが}(\quad) \text{歳のとき} \\ [1. \text{平成} \ 2. \text{西暦}] \\ \text{_____年} \ \text{_____月} \text{出産予定} \end{array} \right\}$	3回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第4回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男}(\quad) \text{人} \\ \text{女}(\quad) \text{人} \end{array} \right\} \end{array} \right\}$ 2. 流産（死産を含む） 3. 人工妊娠中絶 4. 現在妊娠中 _____	$\left\{ \begin{array}{l} [1. \text{昭和} \ 2. \text{平成} \ 3. \text{西暦}] \\ \text{_____年} \ \text{_____月} \text{出産} \\ \text{あなたが}(\quad) \text{歳のとき} \\ [1. \text{平成} \ 2. \text{西暦}] \\ \text{_____年} \ \text{_____月} \text{出産予定} \end{array} \right\}$	4回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第5回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男}(\quad) \text{人} \\ \text{女}(\quad) \text{人} \end{array} \right\} \end{array} \right\}$ 2. 流産（死産を含む） 3. 人工妊娠中絶 4. 現在妊娠中 _____	$\left\{ \begin{array}{l} [1. \text{昭和} \ 2. \text{平成} \ 3. \text{西暦}] \\ \text{_____年} \ \text{_____月} \text{出産} \\ \text{あなたが}(\quad) \text{歳のとき} \\ [1. \text{平成} \ 2. \text{西暦}] \\ \text{_____年} \ \text{_____月} \text{出産予定} \end{array} \right\}$	5回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった

\* 6回以上妊娠された方は、5回目までの記入で結構です。

問17 あなた方ご夫婦の最初の妊娠の(1)妊娠前の避妊実行、(2)妊娠中のあなたの健康状態について、それぞれあてはまる番号に○をつけ、該当する場合は、避妊をやめてから妊娠までの年月を記入してください。

(1) 最初の妊娠前の避妊実行	(2) 妊娠中の健康状態
1. ずっと避妊はしなかった 2. 避妊をしていたが、やめてから妊娠した ↳ 避妊をやめてから おおよそ _____年 _____ヶ月後に妊娠 3. 避妊をしていたが妊娠した	1. おおむね良好だった 2. やや不調だった 3. たいへん不調だった



●このページでは、お子さんをお持ちの方に、育児期の状況についてうかがいます。  
 お子さんをお持ちでない方は、問20へ進んでください。

問18 あなた方ご夫婦がお子さんをお持ちになったときのあなたのお仕事についておたずねします。下のa～fの各時期における(1)おつとめの状況、(2)おつとめ先の従業員数について、あてはまる番号の一つずつ○をつけてください。

おたずねの対象者の時期 ↓	おたずねの時期 ↓	(1)おつとめの状況						(2)おつとめ先の従業員数 (本社・支社を含む)						
		1 正規の職員	2 パート・アルバイト	3 派遣・嘱託・契約社員	4 自営業主・家族従業者・内職	5 無職・家事	6 学生	1 1人	2 10人	3 30人	4 100人	5 300人	6 1000人以上	7 官公庁
生第1 だ子 方を	a 第1子の妊娠がわかったとき	1～6のあてはまる番号に○をつける 1～4に○をつけたときは右の欄に進む						(1)で1～4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける						
	b 第1子が1歳になったとき	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7						
生第2 だ子 方を	c 第2子の妊娠がわかったとき	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7						
	d 第2子が1歳になったとき	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7						
生第3 だ子 方を	e 第3子の妊娠がわかったとき	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7						
	f 第3子が1歳になったとき	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7						

\* お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人目までの記入で結構です。

問19 あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間、ご夫妻のそれぞれのお母さまからの子育ての手助けはありましたか。また(3)に示した制度や施設を利用しましたか。第1子、第2子、第3子について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

おたずねの ↓	お母さまによる子育ての手助け					(3)利用した制度や施設																
	(1)あなたのお母さま					(2)夫のお母さま																
	1 ほとんどなかった	2 ときどきあった	3 ひんばんにあった	4 日常的にあった	5 すでに亡くなっていた	1 ほとんどなかった	2 ときどきあった	3 ひんばんにあった	4 日常的にあった	5 すでに亡くなっていた	1 産前・産後休業制度	2 育児休業制度	3 育児時間制度・短時間勤務制度	4 公立の認可保育所	5 私立の認可保育所	6 ホテルなど・認証保育所	7 認可外保育施設(保育室・ベビーシッターなど)	8 企業内保育所	9 保育ママ・ベビーシッターなど	10 地域の子育て支援センターやファミリーサポートセンター	11 保育所・幼稚園等の一時預かり	11 どれも利用しなかった
第1子	あてはまる番号一つに○					あてはまる番号一つに○					あてはまる番号すべてに○をつける											
第1子	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
第2子	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
第3子	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	

\* お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人目までの記入で結構です。

●ここから2ページは、すべての方に、子どもを持つことについてのお考えをうかがいます。

問20 あなた方ご夫婦にとって(1)理想的な子どもの数は何人ですか。また、(2)子どもの男女の別や組合せには理想がありますか。それぞれあてはまる番号に○をつけ、組合せに理想のある方は男の子、女の子の数を( )内に記入してください。

(1)理想的な子どもの数	(2)子どもの男女の別や組合せの理想
0. 子どもはいらない→ 問22へ	1. 理想あり → 男の子( )人 女の子( )人
1. 1人	
2. 2人	
3. 3人	
4. 4人	
5. 5人以上( )人	2. とくに理想はない

●前問(問20)で、理想的な子どもの数が1人以上と答えられた方(1～5に○をつけた方)にうかがいます。

問21 理想的な子どもの数を1人以上とお考えになる理由はなんですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

あてはまる最も重要な理由の番号すべてに◎をつけてください。	1. 結婚して子どもを持つことは自然なことだから
	2. 子どもを持つことで周囲から認められるから
	3. 子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから
	4. 子どもは老後の支えになるから
	5. 子どもは将来の社会の支えになるから
	6. 子どもは夫婦関係を安定させるから
	7. 好きな人の子どもを持ちたいから
	8. 夫や親など周囲が望むから
	9. その他( )

●すべての方にうかがいます。

問22 あなた方ご夫婦の今後のお子さんの予定についておたずねします。(1)お子さんの数と(2)希望の時期について、あてはまる番号に○をつけ、(2)で「しばらく間をおいてから」とお答えになった場合は、(3)希望する年齢を記入してください。

(1)今後のお子さんの予定 (現在妊娠中のお子さんも含めて)	(2)お子さんを希望する時期	
0. (もう) 生むつもりはない	1. できるだけ早く	
1. (あと) 1人生むつもり		2. しばらく間をおいてから
2. (あと) 2人生むつもり		(3)次のお子さんを持ちたい年齢 あなたが( )歳くらいのとき
3. (あと) 3人生むつもり		3. とくに考えていない
4. (あと) 4人以上生むつもり	4. 現在妊娠中	

問23 そうしますと、あなた方ご夫婦は全部で何人のお子さんを持つおつもりですか。

0. 子どもは持たない
1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上( )人

●持つつもりの子どもの数(問23の答)が、理想とする子どもの数(問20(1)の答)より少ない方にうかがいます。

問24 持つつもりの子どもの数が、理想とする子どもの数より少ないのはどうしてですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

あてはまる最も重要な番号すべてに◎をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。	1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
	2. 家が狭いから
	3. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
	4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから
	5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
	6. 高齢で生むのはいやだから
	7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
	8. 健康上の理由から
	9. ほしいけれどもできないから
	10. 夫の家事・育児への協力が得られないから
	11. 夫が望まないから
	12. 末子が夫の定年退職までに成人してほしいから
	13. その他( )

●すべての方にうかがいます。

問25 あなた方ご夫婦が今後お子さんを持つとしたら、お子さんが小さい間、ご夫妻のそれぞれのお母さまからの子育ての手助けは期待できますか。また(3)に示した各制度や施設を利用したいですか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

今後、(次の)お子さんを持つとしたら	お母さまに期待できる子育ての手助け					(3)利用したい制度や施設																	
	(1)あなたのお母さま					(2)夫のお母さま					希望する番号すべてに○をつける												
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
	あてはまる番号1つに○					あてはまる番号1つに○																	
	ほとんど期待できない	ときどきは期待できる	ひんばんに期待できる	日常的に期待できる	すでに亡くなっている	ほとんど期待できない	ときどきは期待できる	ひんばんに期待できる	日常的に期待できる	すでに亡くなっている	産前・産後休業制度	育児休業制度	育児時間制度・短時間勤務制度	公立の認可保育所	私立の認可保育所	ホテルなど)・認証保育所	認可外保育施設(保育室・ベビー	企業内保育所	保育ママ・ベビーシッターなど	ファミリーサポートセンターや	地域の子育て支援センターや	保育所・幼稚園等の一時預かり	どれも利用を希望しない



問26 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑩のような考え方を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。

	(左の考え方に)			
	1 ま っ た く 賛 成	2 い ど え ち ば ら 賛 成 と	3 い ど え ち ば ら 反 か 対 と	4 ま っ た く 反 対
① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4
② 男女と一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	1	2	3	4
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	1	2	3	4
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	1	2	3	4
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	1	2	3	4
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	1	2	3	4

本調査について、あるいは結婚、出産、子育て、少子化、人口問題などにつきまして、ご意見等がございましたら、下の欄にどのようなことでも自由にお書きください（なければ書かれなくても結構です）。

---



---



---



---



---



---



---



---

ご協力ありがとうございました。

ご回答いただいた調査票は回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡しください。封筒は国立社会保障・人口問題研究所へ届くまで、途中で開封されることはありません。